

## 「ひとめぼれ」の簡易栄養診断法

「ひとめぼれ」の草丈・茎数・葉色などの生育調査データから幼穂形成期追肥の要否判定を行う簡易栄養診断法を策定した。

表1 幼穂形成期頃の(草丈×茎数×葉色値)による簡易栄養診断早見表(ひとめぼれ)

		診断区分	A未満	A~B	B	B~C	C以上			
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	カラスケール				葉緑素計(SPAD)				
		4	4.5	5	5.5	30	35	40	45	
500	45	×10 <sup>5</sup>	0.90	1.01	1.13	1.24	0.68	0.79	0.90	1.01
	50	1.00	1.13	1.25	1.38	0.75	0.88	1.00	1.13	
	55	1.10	1.24	1.38	1.51	0.83	0.96	1.10	1.24	
	60	1.20	1.35	1.50	1.65	0.90	1.05	1.20	1.35	
	65	1.30	1.46	1.63	1.79	0.98	1.14	1.30	1.46	
	70	1.40	1.58	1.75	1.93	1.05	1.23	1.40	1.58	
600	45	×10 <sup>6</sup>	0.81	0.95	1.08	1.22	0.81	0.95	1.08	1.22
	50	1.20	1.35	1.50	1.65	0.90	1.05	1.20	1.35	
	55	1.32	1.49	1.65	1.82	0.99	1.16	1.32	1.49	
	60	1.44	1.62	1.80	1.98	1.08	1.26	1.44	1.62	
	65	1.56	1.76	1.95	2.15	1.17	1.37	1.56	1.76	
	70	1.68	1.89	2.10	2.31	1.26	1.47	1.68	1.89	
700	45	1.26	1.42	1.58	1.73	0.95	1.10	1.26	1.42	
	50	1.40	1.58	1.75	1.93	1.05	1.23	1.40	1.58	
	55	1.54	1.73	1.93	2.12	1.16	1.35	1.54	1.73	
	60	1.68	1.89	2.10	2.31	1.26	1.47	1.68	1.89	
	65	1.82	2.05	2.28	2.50	1.37	1.59	1.82	2.05	
	70	1.96	2.21	2.45	2.70	1.47	1.72	1.96	2.21	
800	45	1.44	1.62	1.80	1.98	1.08	1.26	1.44	1.62	
	50	1.60	1.80	2.00	2.20	1.20	1.40	1.60	1.80	
	55	1.76	1.98	2.20	2.42	1.32	1.54	1.76	1.98	
	60	1.92	2.16	2.40	2.64	1.44	1.68	1.92	2.16	
	65	2.08	2.34	2.60	2.86	1.56	1.82	2.08	2.34	
	70	2.24	2.52	2.80	3.08	1.68	1.96	2.24	2.52	

## 手順1

幼穂形成期頃(7月上旬)の草丈、茎数、葉色値(カラスケールまたはSPAD)の値から診断区分のどの区分に位置するかを表1で確認する。

表2 診断内容

診断区分	診断内容と予想される粒数等の目安
A未満	生育量不足。粒数が不足する(27千粒以下)。
A~B	生育量やや不足。倒伏の可能性は少ない。
B	十分な生育量確保。生育中期高温の場合粒数過剰傾向、稈長伸びすぎの可能性あり。
B~C	生育過剰傾向。稈長伸びすぎ、登熟期天候不良の場合、登熟歩合低下の恐れあり。
C以上	生育過剰。倒伏や粒数過剰(35千粒以上)による登熟不良の恐れあり。

## 手順2

診断区分により、生育状況を確認し(表2)追肥の要否判定を行う。(表3)

表3 対応策

診断区分	追肥の要否判定
A未満	幼穂形成期・減数分裂期の重複追肥を検討。これまでの土壌・施肥管理を確認する。
A~B	粒数確保のため、幼穂形成期追肥を基本とする。
B	幼穂形成期追肥を基本とするが、天候が急に高温に転じたときや、家畜糞堆肥多施用などで肥沃化している場合は、減数分裂期追肥または、減肥を検討する。
B~C	減数分裂期追肥を基本とし、減肥を検討する。
C以上	追肥は実施しない。これまでの土壌・施肥管理を確認する。

なお、診断区分がAまたはA~Bであっても、葉色が基準値(カラスケール 4.0~5.0、SPAD 35~40)を越えている場合、あるいは幼穂形成期以降に極端な低温が予想される場合は幼穂形成期追肥を控える。逆に、診断区分がCまたはB~Cであっても、葉色が基準値に満たない場合は追肥することが望ましい。